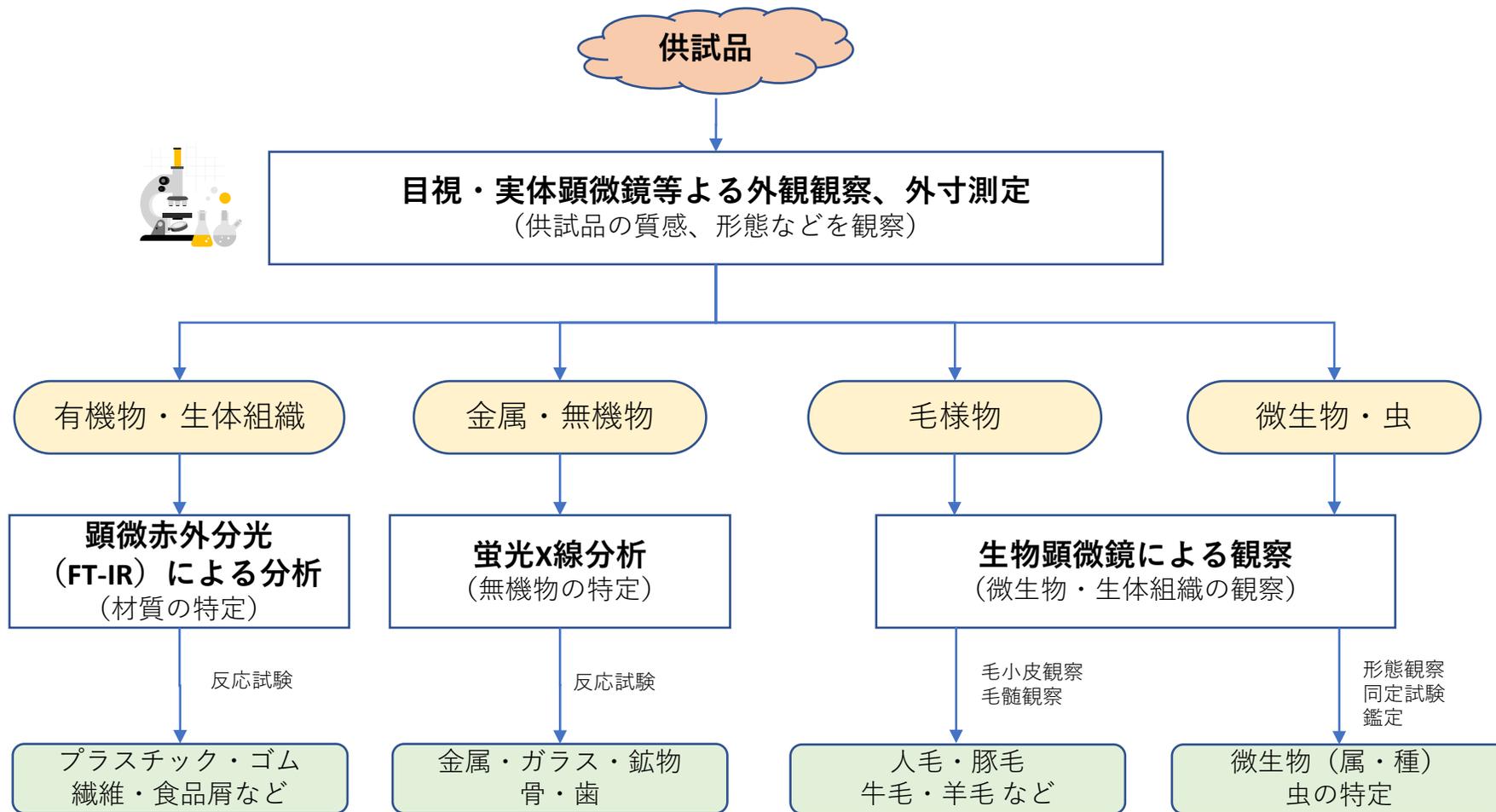


異物検査の流れ



顕微赤外分光(FT-IR)分析

供試品に赤外光をあて得られた赤外スペクトルより材質を特定します。例えばプラスチックはPET、PP、PE等の種類も特定できます。

蛍光X線分析

物質にX線をあてると物質に含まれている元素は特定のX線を放出します。これを利用して供試品に含まれる元素の種類を特定します。これにより金属、鉱物、歯科材料等の特定ができます。

生物顕微鏡による観察

生物顕微鏡を用いて供試品を拡大観察します。拡大観察することで、微生物の形態、植物細胞、動物細胞、毛髪のキューティクル等の判別ができます。